

兵庫県保険医協会 第36回地域医療を考える懇談会 ご案内

生活保護医療の現状と課題

～尼崎市による個別指導問題もふまえて～

地域医療部長 綿谷 茂樹
尼崎支部長 八木 秀満

兵庫県保険医協会では各地の医療活動の経験交流と、地域医療・保健・福祉のあり方やネットワークづくりを目的に、「地域医療を考える懇談会」を県下各地で巡回し開催しています。

今回は尼崎支部で「生活保護医療」をテーマに開催します。尼崎市による生活保護指定医療機関に対する理不尽な個別指導や一方的な返還要求が相次ぎ、保険医協会はこれまで厚生労働省へ交渉を行うなど運動を進めてきました。今懇談会では、これまでの経緯や生活保護医療のあるべき姿などについて、地域医療に携わる医師、医療スタッフの立場からそれぞれの視点でご報告いただきます。

医師、歯科医師、医療・介護・保健・福祉関係者の方の幅広いご参加をお待ちしております。

日時 2020年2月1日(土) 午後4時～6時30分
会場 尼崎市中小企業センター401会議室
(尼崎市昭和通2丁目6-68 TEL:06-6488-9501 阪神尼崎駅から北東へ徒歩5分)

- 基調報告** ◇ 綿谷 茂樹 先生(地域医療部長)
- 話題提供** ◇ 原 秀憲 先生(東灘波町・はらクリニック 院長)
「個別指導の実際 - 立ち会い医師の立場から -」
- ◇ 船越 正信 先生(下坂部・尼崎医療生協 潮江診療所 所長)
「生活保護行政と医療現場との乖離-受療権を守る立場から-」
- ◇ 三橋 徹 先生(西立花町・ひまわり医療生協 田島診療所 所長)
「生活保護指定医療機関への個別指導を受けて」
- ◇ 尼崎医療生協病院 ソーシャルワーカー 山上 育子 氏
「受療権を保障する立場から」

参加費 無料 お問い合わせは、兵庫県保険医協会 電話 078-393-1805 沖野、長澤まで

第36回地域医療を考える懇談会 参加申込 FAX:078-393-1802

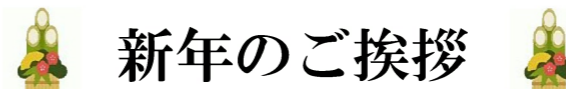
参加者氏名	職種	参加者氏名	職種

医療機関名・施設名 () 電話 (- -)

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

408号
2020年1月5日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011



新年のご挨拶



社会保障の充実を目指して 共に頑張りましょう

兵庫県保険医協会尼崎支部長 八木秀満

新年明けましておめでとうございます。
年頭に当たり、一言申し上げます。

昨年末の中村哲先生の訃報には愕然としました。先生には協会でもご講演いただきました。なんとという行動力の持ち主だったのでしょうか。先生の意思を引き継ぐ者が現れることを期待したい。

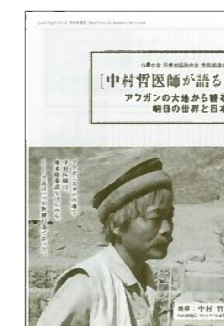
それにつけても、「桜を見る会」に関する政府の醜態は如何なものでしょうか。無駄遣いとは言いませんが、「税金」を何とと思っているのでしょうか。「税金」は国民のために使われなくてはなりません。

今年は、診療報酬改定の年ですが、マイナスの改定率になるようです。予算が

足りない和社会保障を減らすのには我慢なりません。

尼崎支部では3月末に、「改定研究会」の開催を予定しております。不合理制度の是正のためにも、多数の参加とご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

本年も、社会保障の充実をめざして、がんばりましょう！！



中村哲先生:「武器ではなく命の水を」と、アフガニスタンで医療支援や水路建設に取り組む。協会では、九条の会「兵庫県医師の会」で、2011年5月15日に講演。講演録(左)をご希望の方は、協会事務局まで。

今年もよろしくお願い致します 幹事一同

— 2020年診療報酬改定研究会日程(尼崎会場) —

医科 3月27日(金) 14時～16時 都ホテル尼崎(旧:都ホテルニューアルカイク)
歯科 3月22日(日) 14時30分～(仮) 会場同上

※日程の詳細は2月にハガキでお知らせします

尼崎社保協 2019年度総会を開催

生きづらい日本社会と 生活保護受給者の実態を学ぶ



データを使って生活保護制度の仕組みと日本独特の偏見・誤解を解説する原昌平氏



会場では活発な質疑が交わされた

尼崎支部が加盟している尼崎社会保障推進協議会は、12月7日(土)に中小企業センターで2019年度総会を開催、市民ら43人が参加した。

議事では小林事務局長が、2018年度の取り組みとして、国保学習会を開催したこと、「日本の子どもの貧困をどう解決するか」をテーマにした市民学習会を開催したこと、「医療・介護の負担増の中止を求める請願署名」の街頭宣伝に取り組んできたことを報告した。

また2019年度の活動方針の柱として、引き続き自治体キャラバンや学習活動、健康

チェック、無料相談活動に取り組む方針が採択された。新年度役員体制として、八木支部長が会長に再任された。

記念講演では、ジャーナリストで元読売新聞大阪本社編集委員、精神保健福祉士でもある原昌平氏が「誤解だらけの生活保護」をテーマに講演し、生活保護制度の仕組みと、生活に困難を抱える人同士を分断する「生活保護バッシング」の問題点や、医療扶助をめぐる問題について解説した。また、「生活保護は権利であり、国は憲法に基づき困窮者の生活保障をする責務がある」と強調し、不当な締め付けをする行政の対応を批判した。

第551回幹事会だより

12月20日(金) 於: ぼて

- 尼崎支部の会員数
12/20現在 医科378人、歯科165人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
医療情勢、地域医療を考える懇談会、市議会請願、当面の支部企画、組織拡大などについて討議、意見交換した。

院長先生はもちろん、スタッフさん、ケアマネさんなど是非ご参加ください!

兵庫県保険医協会 尼崎支部 医療と福祉を考える会のご案内

患者さんの経済的負担軽減のために! 知って得する 医療・福祉の役立つ制度

日時 2月15日(土)午後3時～5時

会場 尼崎市中小企業センター 401会議室

(尼崎市昭和通2-6-68 ☎06-6488-9501 阪神尼崎駅北東へ350m)

講師 神戸女子大学 講師 阿江 善春 先生

参加費 無料

「窓口負担が心配で受診を控えている」「障害者手帳の申請はどこに相談したらいいの」といった患者さんの声を耳にしたことはありませんか。医療費や介護サービス利用料の負担が軽減されたり、手当が受けられる公的制度について、患者さんに的確なアドバイスができることは、患者さんの生命と健康を守るために重要であることはもちろん、医療機関に対する信頼にもつながります。また、医療・福祉制度の仕組みについての知識は、医療機関だけでなく、地域の医療・介護を担う各職種の方々にも必要とされています。

今回は、医療機関で知っておきたい医療・福祉制度のポイントについてお話いただきます。

《講師からのメッセージ》

世界保健機関(WHO)は人間の健康に関する定義に「身体的」「精神的」「社会的」という3つの柱を入れています。ひらがなで言いかえると「からだ、こころ、くらしの健康」ということでしょうか。

今回はくらしの健康から見た医療=安心して必要な医療や福祉制度を受けられることを軸に、わが国の社会保障、社会福祉、社会保険制度の全体像と特徴・問題点や課題を押しえながら、具体的に患者さんやご家族、利用者さんの負担を軽くし、必要な受診や療養生活を守る方法を学びたいと思います。

患者さんの人生を支えることと、開業医の先生方の日常診療の応援にもなり、同時に地域社会・経済の安定、好循環にプラスになるものと考えています。【阿江善春 記】

*お問い合わせは、兵庫県保険医協会事務局 ☎078-393-1805 沖野、長澤まで

切り取らずにこのままFAXして下さい

【2/15医療と福祉を考える会参加申込書 FAX078-393-1802 兵庫県保険医協会 尼崎支部 宛】

氏名	職種	氏名	職種

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____

TEL _____ 担当者 _____ 様